

2020年9月15日

各位
プレスリリース

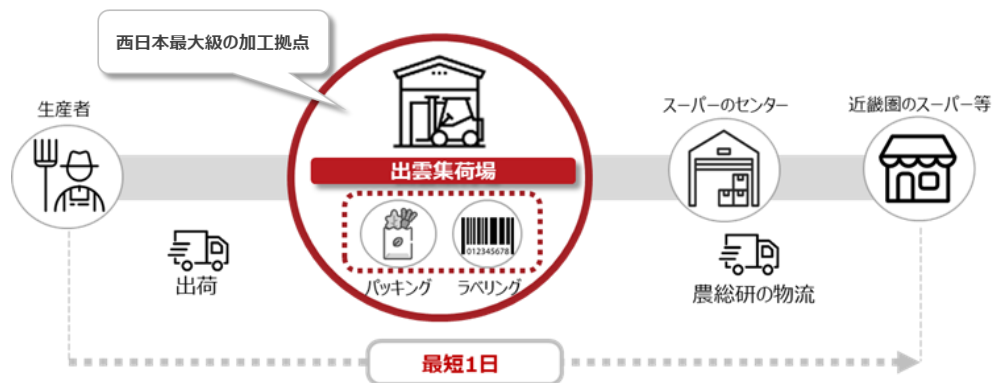
株式会社農業総合研究所

当社初の本格的な加工機能を併設した集荷場を出雲に開設 産地からの物流効率を最大化し青果類流通の拡大を狙います

「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げる株式会社農業総合研究所（本社：和歌山県和歌山市、代表取締役社長：堀内寛、以下「農総研」）は、島根県では初となる農産物出荷用集荷場を9月15日に開設いたします。当該集荷場は、農総研では初めてとなる本格的な加工機能（パッキング、ラベリング）を兼ね備えた施設で、県外出荷の効率性を最大限発揮する試験的取組みを行う戦略拠点としての役割を担います。

■本件のポイント

- ✓ 農総研初となる本格的な農産物加工機能（パッキング、ラベリング）を併設
- ✓ 機能改編に伴い利用停止中であった「生活協同組合しまね」のセンターを有効活用
- ✓ 島根県産の新鮮で熟度の高い青果類を近畿圏のスーパーマーケットに最短でお届け



■目的と背景

農総研は、本格的な商品の加工機能を兼ね備えた集荷場を島根県出雲市に開設しました。島根県初となる集荷場「出雲集荷場」は、生産者が行っている商品の加工作業を受託することにより、中・大規模生産者からの集荷拡大を狙い、物量の増加と安定化、調達の効率化を実現します。新型コロナウイルス禍の影響により、家庭での喫食が増えたことや、在宅勤務の定着による運動不足の懸念などにより、これまで以上に食生活や栄養バランスへの意識が高まることが予測されます。「出雲集荷場」を拠点に、良質な農産物を近畿圏を中心とした都市部の消費地に鮮度を保ってお届けします。高まる需要、そして増加する農産物の出荷量と加工業務に対応します。

■出雲集荷場の概要

- ◆ 運営企業：株式会社まい・しまね流通ラボ
(「生活協同組合しまね」と「間口ウエストロジ株式会社」との合弁会社)
- ◆ 開設日：2020年9月15日(火)
- ◆ 場 所：島根県出雲市長浜町 516-41



■会社概要

株式会社 農業総合研究所 JPX 証券コード 3541

「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」をビジョンに掲げ、日本及び世界から農業が無くならない仕組みを構築することを目的とした産直流通のリーディングカンパニー。全国約9,200名の生産者と都市部を中心とした約1,600店舗の小売店をITでダイレクトに繋ぎ、情報・物流・決済のプラットフォームを構築することにより、これまでになかった新しい農産物流通システムを展開。

以上